

# 入院のご案内



社会医療法人 大真会

お お く ま

# 大隈病院

入院日

月 日 ( 曜日) 午前・午後 時までに

## —目次—

入院される方へ・入院の手続き	2		
病室について	3		
持参していただくもの	4		
入院治療中の生活について	6		
点灯時間・消灯時間	入浴	貴重品等の管理	病室内注意
検温時間	洗濯	リストバンド装着のお願い	病室の移動
食事	携帯電話使用について	抑制に関する注意事項	外出・外泊
自動販売機・売店	談話室	入院中の付き添い	非常事態時の誘導
テレビ・冷蔵庫		特定行為包括同意について	その他
		のお願い	
面会について	10		
駐車場	10		
入院中の他の医療機関受診について	11		
各種同意書について	11		
各種書類について	11		
入院費用について	11		
病棟種別についてのご案内	12		
退院準備	13		
患者相談窓口のご案内	13		
高額療養費制度についてのご案内	14		
医療安全推進委員会・医療安全管理室からのお願い	16		
病院で提供する食事について			
貴重品についてのお願い			
病状観察に関するご協力をお願い			

## 入院される方へ

当院では、患者様に信頼され、満足していただける医療、看護を目指しております。

1階 総合受付で診察券を提示し、案内に従ってください。

※ 入院予約を取り消される、予定時刻より遅れる場合は、外来診療科へご連絡ください。

## 入院の手続き

◆ 入院予約時にお渡した書類に所定事項をご記入・押印していただき、入院当日にご提出ください。

※ 緊急連絡先は正確にお教え下さい。

提出先	提出していただくもの	
1階総合受付	<input type="checkbox"/> マイナンバーカード又は資格確認証、福祉給付金資格者証、障害者医療証等	※確認後 返却いた します
	<input type="checkbox"/> 介護保険証（お持ちの方）	
	<input type="checkbox"/> 退院証明書（3ヶ月以内に他の病院に入院されていた方）	
2階20番受付	<input type="checkbox"/> 入院申込書	
	<input type="checkbox"/> 個人情報取り扱い同意書	
	<input type="checkbox"/> 入院セット申込書（申し込まれる方のみ）	

◆ 保険証は入院中も毎月1回確認をさせていただきます。1階総合受付に提出をお願い致します。

◆ 高額療養費制度については、P14～15参照ください。

## 病室について

◆病室は4人部屋が標準です。

ベッドごとに床頭台、カード式テレビ・冷蔵庫（有料）、収納ユニットが備えてあります。

各病室に共用洗面台があります。

◆Wifi環境はありません。

◆個室をご希望される方は、入院予約時にご相談下さい。（別途個室料金を申し受けます）

入院中に個室を希望される患者様は、病棟スタッフへ申し出ください。

（病棟の都合によりご希望に添えない場合があります。）

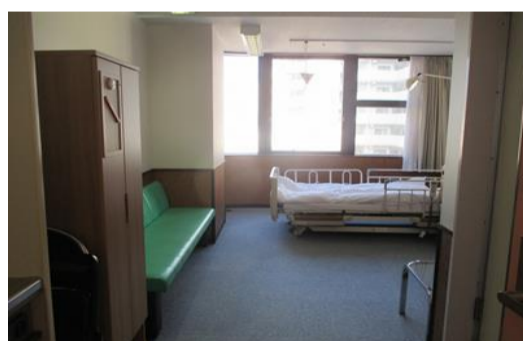
## 特別療養環境室における差額について

◆1日につき、下記の料金が自己負担となります。

一般病棟（5階、7階）		地域包括ケア病棟（6階、8階）		
西側個室 (10.52~10.89m <sup>2</sup> )	東側個室 (8.5~8.7m <sup>2</sup> )	特別個室 (14.23~14.51m <sup>2</sup> )	西側個室 (10.52~10.89m <sup>2</sup> )	東側個室 (8.5~8.7m <sup>2</sup> )
洗面台付		ユニットバス	洗面台付	
5階：4床 7階：4床	7階：4床	8階：5床	6階：4床 8階：4床	6階：4床
11,000円（税込）	6,600円（税込）	16,500円（税込）	11,000円（税込）	6,600円（税込）

※居室よりユニットバスへは、約25cmの段差があります。

特別病室



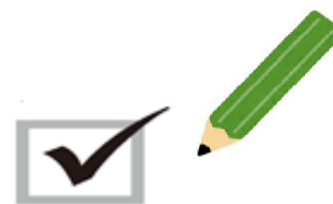
西側個室



東側個室



## 持参していただくもの



◆入院される際は、特別に医師・看護師からの指示があるもののほか、以下のものをご用意ください。

- 印鑑
- 下着類（3～5枚）
- 現在服用中のお薬やお薬手帳（インスリンや麻薬も含め、服用中のお薬はすべてお持ちください。）

◆必要な方は、以下のものをご用意ください。

- 羽織る物
- 電動ひげそり（シェーバー）
- イヤホン（テレビやラジオを使用する場合に必要です。3階自動販売機でも購入できます。）
- 内履きシューズ（転倒予防のため、かかとを覆うタイプの滑りにくいシューズ）  
※入院セット（別紙参照）を申し込まれた場合は、スリッパの提供となっています。



- 腕時計、置き時計等の時間のわかるもの  
（各病室に時計の設置はありませんので、必要な方は各自でご用意ください。）

- 義歯、眼鏡、補聴器   ※**保管ケースも必ずご用意ください**  
ただし、入院セット（別紙参照）を契約された方は、義歯の保管ケースのみセット内に含まれます。

◆箸、スプーンは食事と一緒に全員に提供しております。

- ※盗難、紛失、破損などについての責任は負いかねますのでご了承ください。
- ※多額の現金や貴重品はお持ちにならないでください。
- ※患者様の安全確保の為に、包丁やカッターナイフ、ハサミなどの鋭利な物の持ち込みはご遠慮ください。
- ※化粧・マニキュア等は、診察に支障がありますので、ご遠慮ください。

**【紛失を防ぐために:ご協力のお願い】**

大切な持ち物を守るため、以下の対策へのご協力をお願い致します。  
 なお、以下の対策を講じても、紛失や破損を完全に防ぐことは困難であることをご理解頂けますと幸いです。

- お名前の明記:補聴器本体などの小さな部品にも、刻印や油性マジックでの氏名表記をお願い致します。
- 専用ケースの使用:取り外した際は、必ず「名前入りの専用ケース」に保管ください。  
 ※ティッシュに包むと、誤廃棄の原因となります。
- 現状の把握:入院時に私物の状態を確認・撮影させて頂く場合がございます。  
 入院後に新しく持参された場合も、必ず看護職員へお申し出ください。

◆以下は、入院セット（別紙参照）を契約されない方のみご用意下さい

パジャマのような病衣の代わりとなるもの（前開きの物が望ましい）

洗面・入浴用具（歯ブラシ、歯磨き粉、洗面器、タオル、バスタオル、シャンプー、石鹸）

コップ や楽のみ（割れないもの）

ティッシュペーパー

- ◆ 適宜洗濯やおむつなどの補充をお願いします。  
 （当院から洗濯や補充の依頼連絡は行っておりません）
- ◆ 電気毛布や電気あんか等電化製品の持ち込みを希望される方は看護師にお知らせください。

オムツ、パット、おしり拭き（必要な方）

**《入院セット(入院生活に必要な日用品)について》**

- ◆ 外部委託業者が入院に必要な日用品（入院中の寝衣・タオル・バスタオル・おむつ一式・洗面用具・入浴用具など）の提供を定額で行っています。
- ◆ 入院セットは、外部委託業者と患者様とのご契約となりますので、当院でお支払いは出来ません。  
 ご希望時にご契約・ご解約は可能です。スタッフにお声かけください。
- ◆ 手術や検査内容により、必要期間入院セットのご利用をおすすめする場合があります。

## 入院治療中の生活について

入院時に病棟看護師が入院生活等について詳しく説明いたします。ご不明な点は遠慮なくお尋ねください。

### 《点灯時間・消灯時間》

点灯時間 6時00分 消灯時間 21時00分

### 《検温時間》

各病棟の指示に従ってください。

### 《食事》

朝食：7時30分 昼食：12時00分 夕食：18時00分

- ◆ 患者様の病状等に合わせ、お食事を提供いたします。病院食以外の飲食は治療の妨げになる場合もありますのでご遠慮ください。
- ◆ 米飯を提供している患者様は週に2回朝食でパン食を選択できます。（一部治療食を除く）
- ◆ **食事止めの締め切り時間** （外出泊の際はお早めにお知らせ下さい。）

**朝食：当日6時00分 昼食：当日9時30分 夕食：当日14時30分**

※ 締切時間に間に合わない等場合によっては、やむを得ず食事代をご負担頂くこともございます。

- ◆ 給湯器・給茶機の設置はありません。食事配膳時にコップ1杯のお茶を提供させていただきます。
- ◆ 食事時間以外の飲水は各自でご用意をお願い致します。
- ◆ 自動販売機・売店についてはP7を参照ください。

### 《自動販売機・売店》

- ◆ 自動販売機は、1・2・3階と各病棟に設置してあります。  
飲物は1・2・3階と各病棟、パン・菓子類・イヤホンは3階、  
マスクは1階に設置してあります。
- ◆ 売店は、1階にあります。

**売店営業時間**   ➤ 平日 8時～16時まで  
                          ➤ 土曜日 8時～12時まで

### 《テレビ・冷蔵庫》

- ◆ カード式テレビ・冷蔵庫は、テレビカードにて共通でご利用いただけます。  
（冷蔵庫は1日ずつの料金となっております）
- ◆ カードは、1階、5階、6階、7階、8階の自動販売機でお求めください。
- ◆ カードの精算は、1階精算機をご使用ください。（手数料がかかります）
- ◆ テレビやラジオなど音の出る物は、他の患者さまの迷惑にならないようにイヤホンをご使用ください。

## 《入浴》

- ◆ 6・7階に設置してあるシャワー室をご利用いただけます。  
主治医の許可が必要となります。  
主治医許可後にご利用される患者様は、病棟看護師に声をおかけ下さい。  
原則、土日祝日はご利用できません。
- ◆ 機械浴・介助浴は3階に設置してあります。病棟によって入浴日が決まっています。
- ◆ 特別病室にご入院の患者様は、自室でご利用いただけます。  
主治医許可後にご利用される患者様は病棟看護師に声をおかけ下さい。
- ◆ 入院セットご利用以外の患者様は、タオル、バスタオル、シャンプー類等が必要となります。
- ◆ 洗髪ご希望の方は病棟看護師に声をおかけ下さい。

## 《洗濯》

- ◆ コイン式洗濯機、乾燥機をご利用いただけます。（7階・8階病棟に設置）
- ◆ 洗剤はございませんので、ご自身でご用意下さい。

## 《携帯電話使用について》

- ◆ 携帯電話はエレベーターホール付近にてご使用ください。病室での通話は他の患者さまの迷惑になりますので、お控えください。（個室での通話は可能です）
- ◆ 当院では充電サービスなどの対応はしていません
- ◆ 当院に公衆電話の設置はございません

## 《談話室》

- ◆ 3階に談話室を設けております。ご自由に利用ください。携帯電話での通話は他に利用される患者さまの迷惑になりますのでお控えください。

## 《散髪》

訪問理容 毎月第1水曜 13:30~17:00

- ◆ 希望される方は看護師へ2日前までにお知らせください。予約が埋まっている場合はお断りすることがございます。
- ◆ カット料金：座位3600円 臥位4000円  
当日にご本人またはご家族様より直接お支払いをお願い致します。  
病院にてお預かりは致しませんのでご了承ください。

## 《病室内の注意》

- ◆ 病室の空いているベッドに物を置く、腰を掛ける等、ご利用にならないようお願いいたします。

## 《病室の移動》

- ◆ 患者様の病状や病棟の事情により病室の移動をお願いすることがあります。

## 《外出・外泊》

- ◆ 外出・外泊を希望される方は、主治医の許可を受けてください。
- ◆ 外出・外泊にてお食事を召し上がらない場合は、6ページ（食事について）を参照下さい。
- ◆ 外出・外泊時は、届け出を記入していただく必要があります。
- ◆ 帰院予定時刻よりも遅くなる場合は、お手数ですが病院へご一報下さい。

## 《抑制に関する注意事項》

当院では可能な限り患者様の身体抑制をしない方針で看護にあたっておりますが、生命の危険を伴う場合にはやむを得ず抑制させていただくこともあります。その時は、ご本人またはご家族に説明し同意書の提出をお願いしますのでご理解下さい。

## 《非常事態時の誘導》

- ◆ 非常口につきましては室内・廊下に掲示させていただいております。
- ◆ 火災・地震等の非常事態が起きたら、医師・看護師・職員の指示に従い下さい。

## 《特定行為の包括同意についてのお願い》

特定行為とは、医師の指示に基づいてあらかじめ作成した手順書に準じて、看護師が行う「診療の補助」行為になります。この行為は看護師特定行為研修を修了し、実践的な理解力、思考力及び判断力のほか、高度で専門的な知識・技術を身につけた看護師だけが実践可能な診療補助になります。特定行為実践に関しましては、包括同意を持ってご了承いただいたものと判断させていただきます。ご同意いただけない場合は、科長または患者相談窓口までお申し出ください。また、ご同意いただけない場合でも不利益を得ることはありません。ご理解とご協力をお願いいたします。

## 《貴重品等の管理》

- ◆ 貴重品の管理は、盗難防止上、床頭台の金庫をご利用し各自で管理をお願い致します。
- ◆ スタッフステーション内での貴重品のお預かりは致しかねますので、ご了承ください。
- ◆ 院内での金品や私物等の紛失には責任を負いかねます。高額な現金はご家族がお持ち帰り下さい。
- ◆ 個人の持ち物に、名前のご記入をして頂きますようご協力お願い致します。  
名前記入のマジックの貸し出しを希望される場合は、看護師にお声かけください。

## 《リストバンド装着のお願い》

- ◆ 医療安全対策として、患者様にはリストバンドを装着していただいています。
- ◆ 患者様の間違いを防ぐために、名前の確認をさせて頂く場合があります。

## 《入院中の付き添い》

- ◆ 基本的に付き添いは必要ありません。ただし、手術・重症・幼児・病状によっては、主治医の許可を得てご家族の方が付き添うことができます。
- ◆ 患者様の精神安定のために、ご家族に付き添いをお願いする場合があります。

## 《その他》

- ◆ 宅配や出前の利用は他の患者様の迷惑となりますので、お断りいたします。
- ◆ 廊下・出入り口等の共有部分は監視カメラを設置しています。
- ◆ 患者さんや職員のプライバシー及び個人情報を保護するため、院内並びに敷地内での撮影・録音等を原則禁止しております。

**病院敷地内は全て禁煙となっております。**  
**職員・他の患者さんに対して暴力・暴言、セクハラ等の行為があった場合は、**  
**即退院の対応を取らせていただくこともあります。**

その他 お困りごとやご意見、ご不明な点等がありましたら、医療相談員、看護師へお尋ねください。

## 面会について

感染状況によって変更になる場合があります。

面会時間 15時～19時

- ◆ 患者様の病状により面会をお断りすることもありますのでご了承下さい。
- ◆ 面会は他の患者様の迷惑にならないようご配慮下さい。
- ◆ 感染防止のため、小さいお子様や風邪をひかれている方はなるべくご遠慮下さい。
- ◆ 感染症対策のため面会を規制することがあります。
- ◆ 本人への電話のお取り次ぎや電話での病状の確認については、個人情報保護法に基づき対応することはできません。ご家族・ご親族の方もご遠慮下さい。
- ◆ 感染防止のため、生花のお見舞いはご遠慮下さい。
- ◆ 食物のお見舞いは病状により制限がありますので、ご相談下さい。
- ◆ 面会の方への駐車券サービスはいたしておりません。ご了承下さい。

- 正面玄関・東玄関施錠時間 (平日) 17時～7時 (土曜) 12時30分～ (日祝日) 終日
- 西玄関 (時間外受付) 終日施錠しているため、ご入り用の際はインターホンを押してください  
正面玄関・東玄関施錠時間中は西玄関からお帰りください

## 駐車場

- ◆ 「OZパーキング」をご利用ください。

時間 20分 100円 (朝7時～深夜1時) 1日上限800

- 入院時・退院時にお車でお越しの方は、**駐車料金サービス(2時間まで)**を行っています。  
駐車券を必ず1階会計窓口までご持参ください。
- 退院後の外来受診時も同様に駐車料金サービス(2時間まで)を行っています。
- OZパーキング入出庫可能時間は朝7時～深夜1時です。**深夜1時以降は出庫できません。**

※**入院中に医師からご家族の方への説明時の来院の際や面会者**への駐車券サービスは行っておりません。  
ご了承ください。

## 入院中の他の医療機関受診について

- ◆ 原則禁止です。但し当院にて診療を行うことができない専門的な診療は必要となった場合等やむを得ない場合に限り受診可能です。
- ◆ 入院中に他の医療機関を受診される場合（家族の代理診察も含む）は受診先に提示して頂く書類が必要になりますので必ず事前に担当看護師にお申し出下さい。
- ◆ 必要書類「入院中の他医療機関受診提供書」を持参していただきます。
- ◆ 入院中に「入院中の他医療機関受診提供書」を持参せずに他の医療機関を受診された場合は、他の医療機関の医療費が全額患者様のご負担となる場合があります。
- ◆ 患者様ご本人が受診された場合、ご家族がお薬の処方をお他の医療機関に依頼された場合も含まれますのでご注意下さい。

## 各種同意書について

- ◆ 全ての手術、同意が必要な検査、その他患者様と御家族の方の同意が必要と思われる事柄について、その都度「同意書」を頂きますのでご理解とご協力をお願いいたします。

## 各種書類について

- ◆ 生命保険や会社からの書類は、1階にて受付けております。  
提出して頂いてから、お時間を頂きますのでご了承下さい。

## 入院費用について

- ◆ 毎月 月末にて締め、翌月10日頃、及び退院時に入院請求書のご案内を作成し、お届けいたします。2日～3日間の内に1階の会計へお支払い下さい。
- ◆ 退院時は基本的に退院当日にお支払いして頂きますが、土曜日の午後、日、祝祭日の会計は休みとなります。
- ◆ 入院費についてご不明な点やご相談がありましたら、1階総合受付の事務員までお問い合わせください。
- ◆ クレジットカードでの支払いも可能です。

使用可能カード：VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club、DISCOVER

## 病棟種別についてのご案内

当院には一般病棟5階・7階と地域包括ケア病棟(一般)8階と、地域包括ケア病棟(療養)6階がございます。

### 〈包括医療費支払い制度（DPC）について〉

当院では、国が推奨する医療費支払い制度である包括医療費支払い制度方式（DPC）を採用しています。DPCとは従来の診療行為ごとの点数を元に計算する「出来高払い方式」とは異なり、入院期間中に治療した病気の中で最も医療資源を投入した一疾患のみに厚生労働省が定めた1日当たりの定額点数からなる包括評価部分（入院基本料・検査・投薬・注射・画像診断など）と、従来通りの出来高評価部分（手術・胃カメラ・リハビリなど）を組み合わせる方式です。

1日当たりの定額の点数は、「診断群分類」と呼ばれる区分ごとに入院期間に応じて定められています。

※ 一部の病気や治療内容によっては、全て出来高評価となる場合があります。

#### 入院医療費 = 包括評価部分 + 出来高部分

##### ～包括評価部分～

入院基本料  
検査  
投薬  
注射

##### ～出来高部分～

手術・麻酔  
内視鏡検査  
カテーテル検査  
リハビリなど

### 〈地域包括ケア病棟について〉

急性期における治療が終了した後、すぐにご自宅や施設に退院するには不安のある患者さんに対して、在宅復帰に向けて準備を整えるための病棟です。

在宅復帰支援計画に基づいて、主治医・看護師・リハビリテーションスタッフ・医療ソーシャルワーカー等が協力し、患者さんの在宅復帰に向けた準備・相談を行っていきます。

地域包括ケア病棟への入院・移動の判断は主治医が行い、患者様、ご家族様へご案内させて頂くこととなります。

入院期間は診療報酬上、**最長60日が限度**となります。

### 〈入院費用について〉

入院費は1日当たりの定額で、投薬料・注射料・処置料・検査料・画像診断料・リハビリテーション治療料などの費用が含まれます。（摂食機能療法、手術・麻酔、厚生労働大臣の定める除外薬剤・注射薬、入院加算の一部は除く）

※その他の保険診療以外のもの（食事代、個室料、入院セット等）も別途費用がかかります。

一般病棟での包括支払制度（DPC）から地域包括ケア病棟入院料への移行後は、病室の移動と支払制度の移行が必ずしも同時ではないため、詳細は診療情報管理科へお問い合わせ下さい。

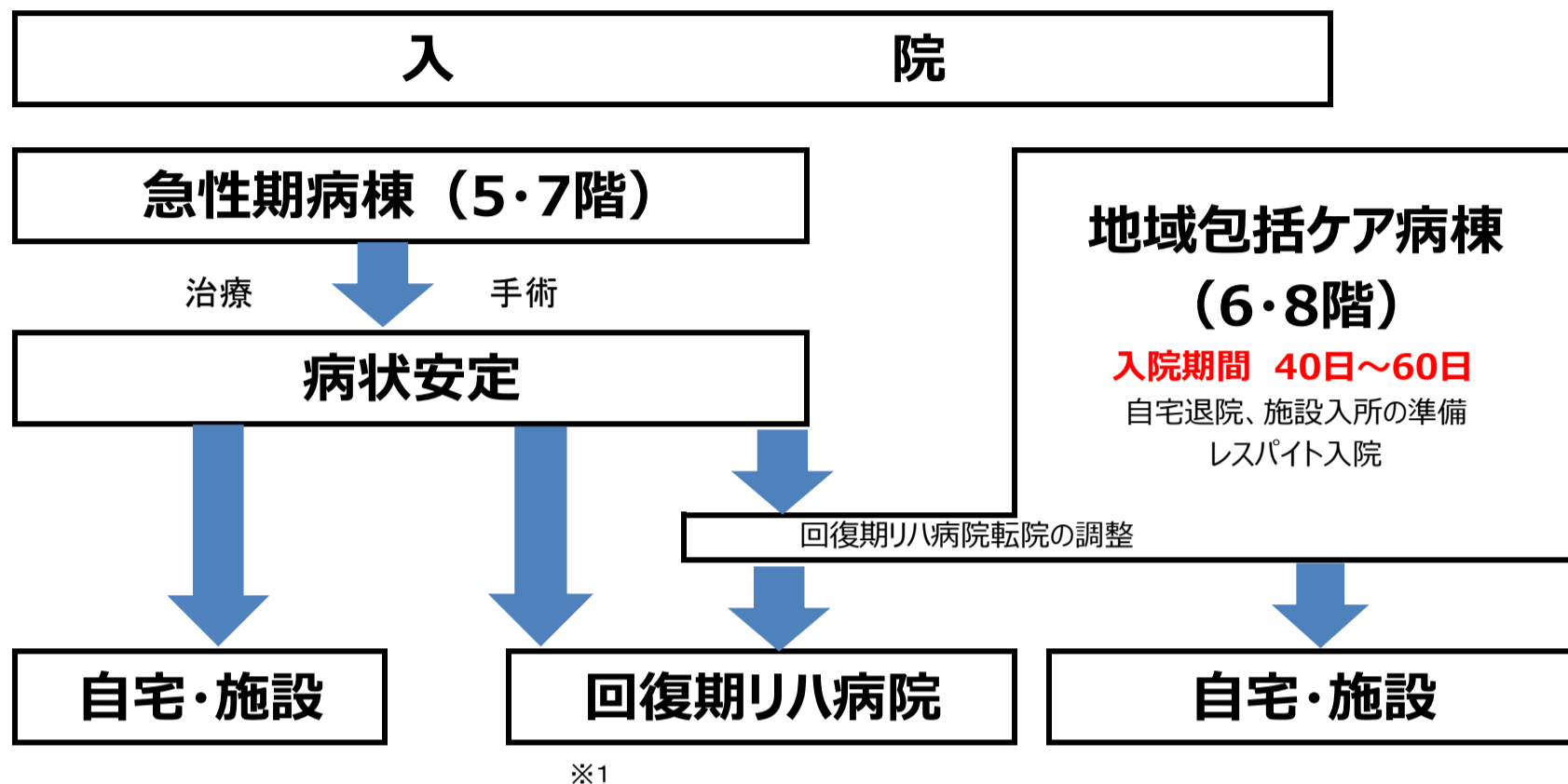
※6階病棟のみ、65歳以上の方は入院時生活療養費・生活療養標準負担が370円/日かかります。

※入院費についての詳細は高額療養費のご案内書、若しくは診療情報管理科へご相談下さい。

## 退院に向けての準備

- ◆ 退院に向けての準備は下記の通り、いくつかの順序があります。

当院では、ご自身でどのような準備が必要なのかわからない場合の相談窓口を設けております。退院まで安心して入院加療ができるように一緒に準備をすすめていきましょう。



◇入院後すぐに手続きが必要となってくるもの◇  
介護保険の申請※2 介護保管の区分変更手続き  
回復期リハビリテーション病院転院の申し込みの準備

※1 回復期リハビリテーション病院は対象疾患がある方のみ転院できます。

※2 65代以上の方 40歳以上で対象となる疾患があり介護の必要のある方が申請できます。

- ◆ 退院の方向性をご家族と相談の上、お聞かせ下さい。
- ◆ 満床の際は患者様のご意向に添えず、早めの退院をお願いする場合がありますのでご協力下さい。
- ◆ 退院の際は、退院日までの入院費用を1階の会計でお支払い願います。  
なお、入院時に保証金を預けてある方は「預り証」にてご精算願います。

## 患者相談窓口のご案内

当院では、皆様のご意見・ご質問・苦情にお応えするために、患者相談窓口を設けております。お困り事がある時、誰に尋ねればいいのか分からない時、当院での対応に不快な思いをされた時など、患者相談窓口へお越しください。

担当者が対応させていただきます。

また、ご意見箱（1階エスカレータ横）でも皆様のお声を受付いたしております。

合わせてご利用ください。

### 患者相談窓口

場所：1階③患者相談  
TEL:052-991-2128

- ◆ 月～金曜日 9:00～17:00
- ◆ 土曜日 9:00～12:30  
(祝祭日・年末年始を除く)

## 高額療養費制度についてのご案内

### ● 高額療養費 ●

高額療養費は、1ヶ月あたりの医療費が高額になり、世帯の負担上限額を超えた場合に支給されます。

該当の方には後日、加入されている健康保険組合からお知らせが届きます。

手続きを済ませていただくと、負担限度額を超えて支払われた差額分を**高額療養費**として受けとる事ができます。

高額な医療費の支払いが不安な方は、**限度額適用認定証** をご利用下さい

オンライン資格確認に同意して頂けない場合は、医療機関の窓口で、資格確認証と一緒に限度額適用認定証を提示していただくと、窓口での支払いが自己負担限度額までになります。

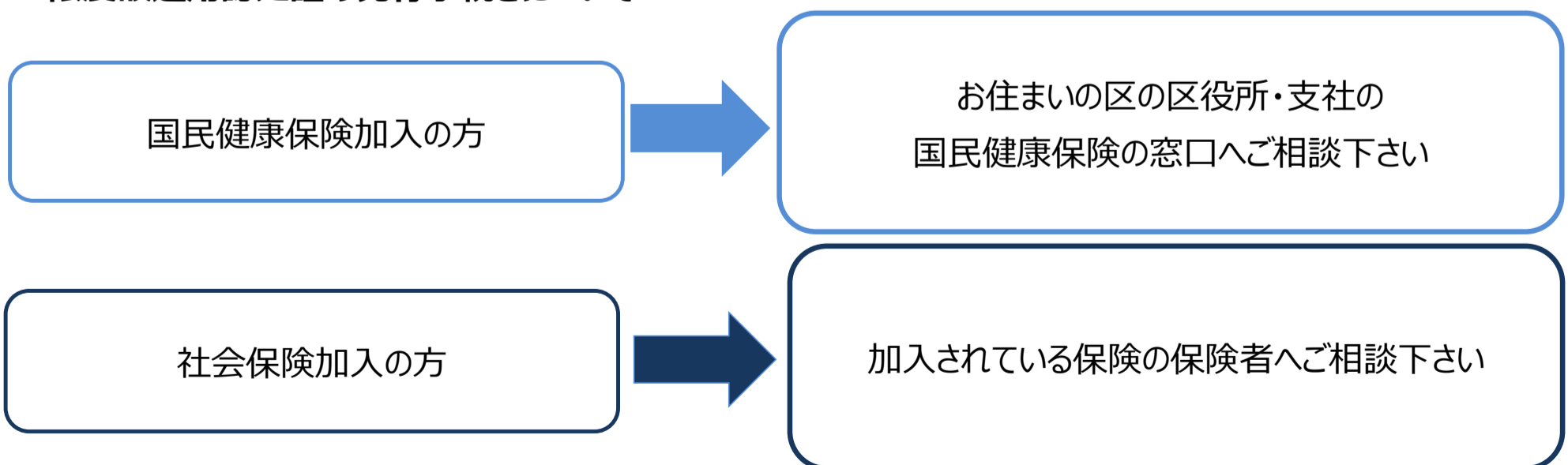
自己負担限度額は年齢と所得区分によって決められています。

70歳未満の方	自己負担限度額	多数該当
ア 標準報酬月額 83万円以上	$252,600 + (\text{医療費} - 842,000\text{円}) \times 1\%$	140,100円
イ 標準報酬月額 53万～79万円	$167,400 + (\text{医療費} - 558,000\text{円}) \times 1\%$	93,000円
ウ 標準報酬月額 28万～50万円	$80,100 + (\text{医療費} - 267,000\text{円}) \times 1\%$	44,400円
エ 標準報酬月額 26万円以下	57,600円	
オ 低所得者 住民税非課税	35,400円	24,600円

(※1) 多数該当とはその月を含めて過去12ヶ月で4回目以降をいいます。

市町村民税非課税の方には「限度額適用・標準負担額認定証」が発行され入院時の食事代も減額になります。

### ● 限度額適用認定証の発行手続きについて ●



ご注意ください

- ① オンライン資格確認に同意して頂けない場合は、手続きが必要で、限度額適用認定証がお手元に届きましたら、必ず当院の1階総合受付へ提示ください。  
(確認がとれないと適用できません)
- ② 限度額適用認定証は、申請があった月から有効です。  
特に月末の入院の方などは同月内に手続きをしていただかなければ、入院当初分に限度額適用ができなくなりますので、ご注意ください。
- ③ 高額療養費算出の際の決まり事
  - 患者様1人ごとに計算                      ➢ 病院、診療所ごとに計算
  - カレンダーの月ごとの計算                ➢ 保険者ごとに計算
  - 入院と通院はそれぞれ別々に計算(同一医療機関でも)
  - 保険診療の対象とならない差額ベッド代は含まれません
  - 入院中の食事負担(標準負担額)は含まれません
  - おむつ、病衣などの実費請求分については使用された分の請求があります。

●70歳以上の皆様へ●

適応区分	自己負担限度額	
	外来(個人ごと)	入院(世帯ごと)
現役並みⅢ 課税所得 690万円以上の方	252,600+(総医療費-842,000)×1% (多回数 140,100 ※2)	
現役並みⅡ 課税所得 380万円以上の方	167,400+(総医療費-558,000)×1% (多回数 93,000 ※2)	
現役並みⅠ 課税所得 145万円以上の方	80,100+(総医療費-267,000)×1% (多回数 44,400 ※2)	
一般課税所得 145万円未満の方(※1)	18,000円 (年間上限144,000円)	57,600円 (多回数 44,000円※2)
住民税非課税世帯Ⅱ	8,000円	24,600円
住民税非課税世帯Ⅰ	8,000円	15,000円

- ※1 世帯収入の合計金額が520万円未満(一人世帯の場合は、383万円未満)の場合や、「旧ただし書所得」の合計額が210万円以下の場合も含まれます。
- ※2 過去12ヶ月以内に3回以上、上限額に達した場合は、4回目から「多数回」該当となり、上限額が下がります。
- ◆70歳以上の方は、「現役並Ⅰ・Ⅱ」世帯と「市民税非課税」世帯の方が限度額適用認定証の対象となります。

ご不明な点や、ご質問のある方は遠慮なく院内スタッフにお声かけ下さい。

## 病院で提供する食事について

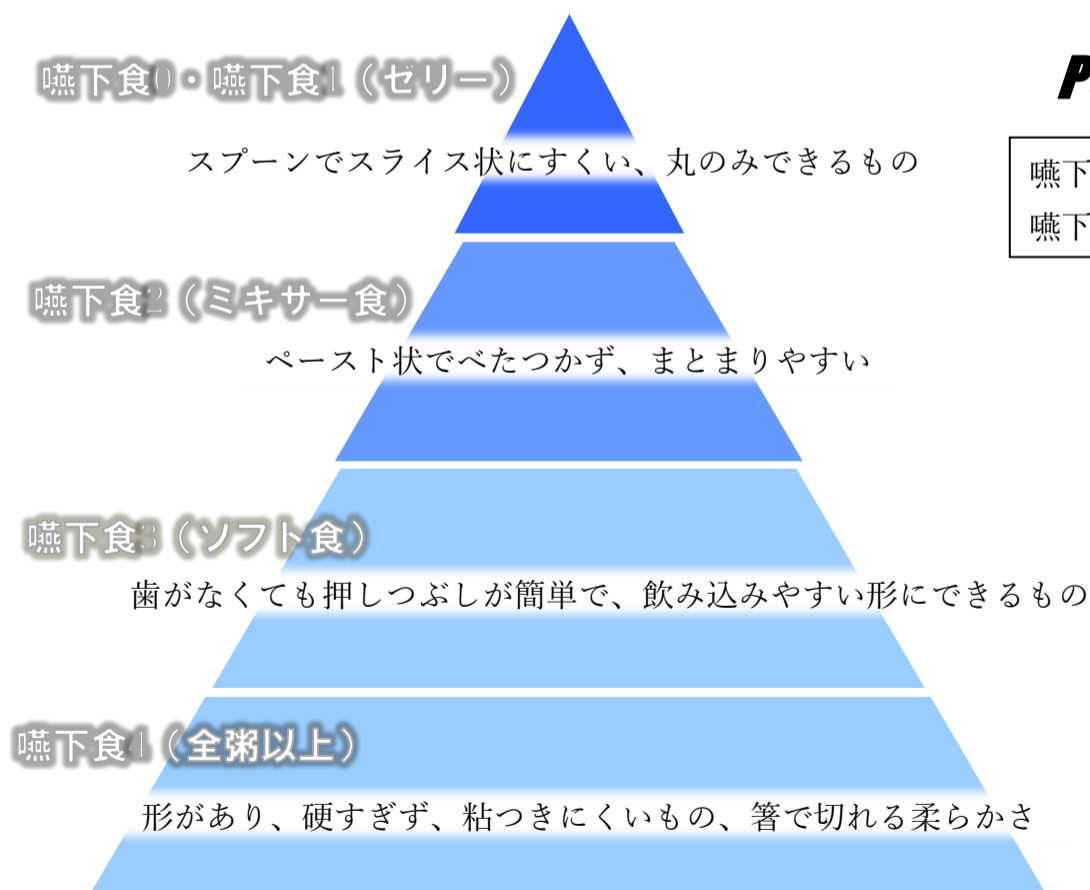
食事は担当医の指示により、病状に応じた食事をご用意いたします。  
飲み込む動作が難しい方が不適切な食物形態を食べることで、  
誤って気管に入ったり、窒息や肺炎の危険性が高まります。  
病院食以外の食事は、担当医または看護師にご相談ください。  
患者様同士での食べ物の交換などはご遠慮ください。



### <食事の種類>

- ★一般食：常食（米飯）、軟菜食（全がゆ）、5分菜、3分菜、流動食
  - ★嚥下（えんげ）調整食：学会分類コードに準じた食事（※以下の表参照）
  - ★治療食：病気に合わせたエネルギーや栄養成分の制限が必要な患者様に提供される食事。
- ※米飯を提供している患者様は週に2回朝食でパン食を選択できます。（一部治療食を除く）

### 食形態の分類



### POINT

嚥下食0：タンパク含有量が少ない  
嚥下食1：タンパク含有量は問わない

患者様の病態に合わせて、ペースト状やムース状などに形態を変えています。



2023年11月 医療安全推進委員会

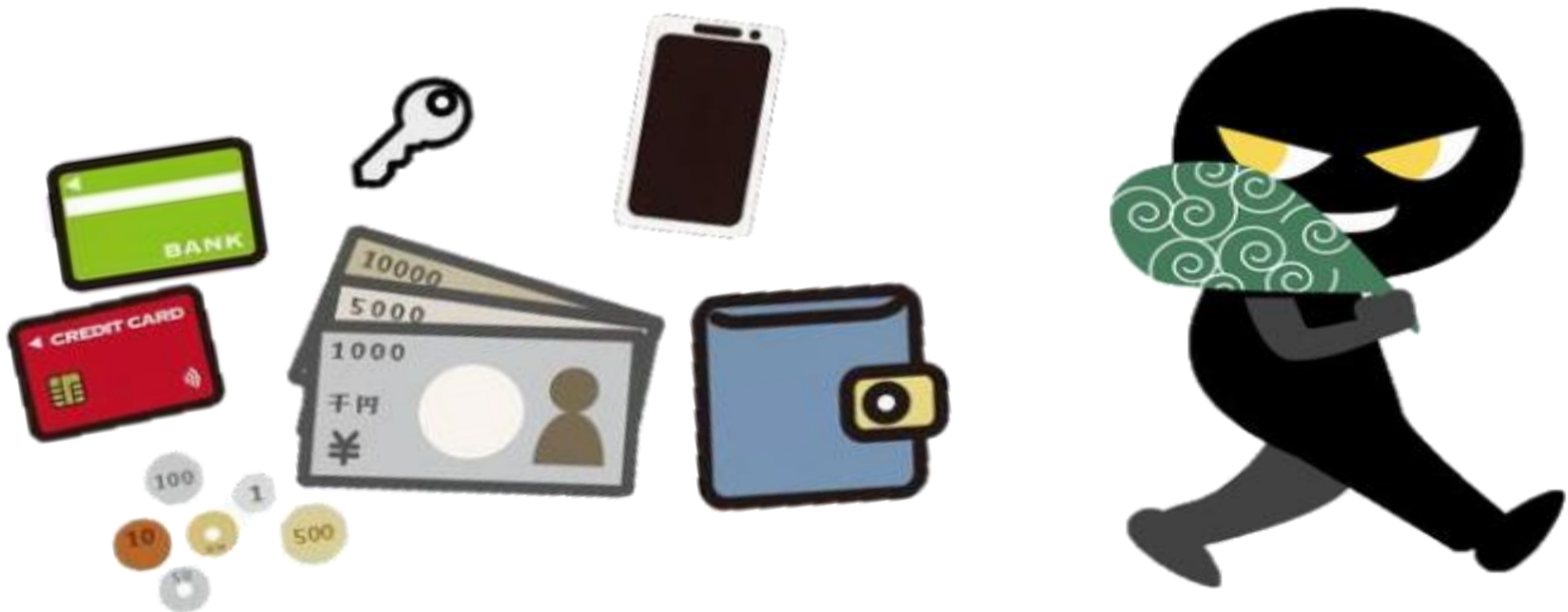
# 貴重品についてのお願い

2023年8月1日 医療安全管理室

病院には多くの人が入り出しますので、盗難が発生する場合があります。当院でも予防策、注意喚起を行っておりますが、患者様におかれましても十分注意をお願い致します。

- ・被害防止のため多額の現金や貴重品等はお持ちにならないで下さい。
- ・やむを得ない場合は、現金、貴重品、テレビカードなどは、病室に設置しているセーフティボックスに入れ、必ず施錠して下さい。
- ・病室を離れる場合は、セーフティボックスの鍵を確認ください。

※万が一盗難にあわれた場合、当院では責任を負いかねます。



**貴重品は、セーフティボックスに入れて施錠を！！**

※必要時、**警察へ通報**致します。

## 病状観察に関するご協力のお願い

患者様の状態観察のために、顔色・口唇色・皮膚色・爪色などの観察が必要な場合があります。特にマニキュア（ネイル）はクリアタイプも含め、末梢血酸素飽和度（SpO<sub>2</sub>値）測定器による測定が困難となりますので、**手指・足趾ともに除去**頂くようお願い致します。

**検査や治療などができなくなる可能性もありますので、ご理解のほどお願い致します。**

### 【除去頂きたいもの】

#### ①化粧

顔色・口唇色・皮膚色などから異常の早期発見を行います。化粧をしているとその異常に気がつきにくくなります。可能な限り化粧は除去いただくようお願い致します。



#### ②ネイル（ジェルネイルなど全般）

爪色は血液の状態を反映しています。ネイルがあることで爪の色が正常であるか判断できなくなります。酸素飽和度を計る測定器がネイルによって正確な測定ができなくなります。ジェルネイルなどの顔料によっては、金属成分が含まれている場合があり、MRI検査の際に火傷を起こしたり、ネイル部分に火花が発生することがあります。また、ネイルの固定が不十分であると磁力に引っ張られ、ネイルが剥がれることもあります。

**※ジェルネイルは除光液では除去できません。**



※検査・手術を受けていただく上での注意点は、その都度、担当職員よりご説明致しますので、指示に従っていただきますようお願い致します。

2024年8月 医療安全管理室